

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第81期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小 熊 信 一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第80期 第3四半期連結 累計期間	第81期 第3四半期連結 累計期間	第80期
会計期間	平成24年4月1日 平成24年12月31日	平成25年4月1日 平成25年12月31日	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高(千円)	2,024,901	2,046,369	2,648,943
経常利益(千円)	110,714	109,344	64,320
四半期(当期)純利益(千円)	122,229	65,722	88,528
四半期包括利益又は包括利益(千円)	111,278	91,160	146,719
純資産額(千円)	1,947,265	2,052,357	1,982,706
総資産額(千円)	3,170,046	3,135,945	3,259,325
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	57.71	31.03	41.80
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	59.7	63.6	59.2
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	154,388	87,398	226,843
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	50,240	30,363	141,134
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	69,831	48,420	122,692
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	432,258	255,503	360,959

回次	第80期 第3四半期連結 会計期間	第81期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	平成24年10月1日 平成24年12月31日	平成25年10月1日 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	37.63	14.40

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
 おりません。
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載して
 おりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要
 な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当社グループの平成26年3月期第3四半期の売上高につきましては、受注が引き続き堅調に推移したことで前年を若干上回り、売上高20億4千6百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

利益面につきましては、製造経費の主要費目である加工燃料費が都市ガス料金の価格が引き続き高めに推移したため、その増加した分を補うべく稼働率及び製造歩留りの向上及びさらなる経費削減に取り組みましたが、営業利益9千4百万円（前年同期比2.0%減）、経常利益1億9百万円（同1.2%減）となりました。さらに、前同四半期に特別利益として計上した受取保険金が無かったことや、役員退職慰労引当金の減少に伴い法人税等調整額が増加したことで四半期純利益6千5百万円（前年同期比46.2%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

（総資産）

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億2千3百万円減少し31億3千5百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が4千8百万円、投資有価証券が3千3百万円及び繰延税金資産が2千2百万円増加した一方で、有価証券が1億8千万円、現金及び預金が3千万円及び商品及び製品が3千万円減少したことによるものであります。

（負債）

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して1億9千3百万円減少し10億8千3百万円となりました。これは主に繰延税金負債が6千3百万円及び買掛金が1千7百万円増加した一方で、役員退職慰労引当金が1億7千4百万円、社債が5千万円及び賞与引当金が3千5百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して6千9百万円増加し20億5千2百万円となりました。これは主に利益剰余金が4千4百万円及びその他有価証券評価差額金が2千万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億5百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には2億5千5百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、8千7百万円（前年同四半期は1億5千4百万円の資金増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上1億8百万円、減価償却費5千2百万円及びたな卸資産の減少による収入2千8百万円があった一方で、役員退職慰労引当金の減少1億7千4百万円、売上債権の増加4千8百万円及び賞与引当金の減少3千5百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、3千万円（前年同四半期は5千万円の資金減少）となりました。これは主に定期預金の預け入れによる支出2億1千2百万円及び有形固定資産の取得による支出7千4百万円があった一方で、定期預金の払い戻しによる収入3億1千9百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、4千8百万円（前年同四半期は6千9百万円の資金減少）となりました。これは主に新規の長期借入金による収入1億7千万円があった一方で、長期借入金の返済による支出1億4千7百万円、社債の償還による支出5千万円及び配当金の支払による支出2千万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	2,142,000	-	107,100	-	582

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 24,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,113,100	21,131	-
単元未満株式	普通株式 4,800	-	-
発行済株式総数	2,142,000	-	-
総株主の議決権	-	21,131	-

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が64株含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目 15番9号	24,100	-	24,100	1.12
計	-	24,100	-	24,100	1.12

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	346,163	315,405
受取手形及び売掛金(純額)	^{2, 3} 698,237	^{2, 3} 747,084
有価証券	215,635	34,697
商品及び製品	349,327	319,027
仕掛品	3,439	49
原材料及び貯蔵品	36,639	41,640
未収入金	37,049	42,826
繰延税金資産	31,851	54,312
その他	4,452	5,799
流動資産合計	1,722,796	1,560,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	319,723	332,578
機械装置及び運搬具(純額)	135,181	126,467
土地	446,096	446,096
建設仮勘定	8,444	12,091
その他(純額)	9,108	7,274
有形固定資産合計	918,554	924,508
無形固定資産	2,292	1,999
投資その他の資産		
投資有価証券	571,916	605,688
その他	56,002	50,522
貸倒引当金	12,237	7,617
投資その他の資産合計	615,681	648,593
固定資産合計	1,536,529	1,575,101
資産合計	3,259,325	3,135,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,275	140,556
1年内返済予定の長期借入金	158,600	170,000
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払法人税等	26,910	8,056
未払事業所税	7,286	5,492
賞与引当金	55,773	20,189
その他	135,928	121,565
流動負債合計	557,774	515,861
固定負債		
社債	50,000	-
長期借入金	160,400	171,600
繰延税金負債	66,370	129,860
退職給付引当金	120,052	118,220
役員退職慰労引当金	293,355	119,300
資産除去債務	28,666	28,745
固定負債合計	718,845	567,726
負債合計	1,276,619	1,083,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,542,709	1,587,253
自己株式	8,435	8,450
株主資本合計	1,641,956	1,686,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	287,567	308,220
その他の包括利益累計額合計	287,567	308,220
少数株主持分	53,182	57,650
純資産合計	1,982,706	2,052,357
負債純資産合計	3,259,325	3,135,945

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	2,024,901	2,046,369
売上原価	1,593,886	1,625,793
売上総利益	431,015	420,576
販売費及び一般管理費	334,878	326,379
営業利益	96,136	94,196
営業外収益		
受取利息	303	134
受取配当金	14,784	15,159
受取賃貸料	6,916	6,881
その他	4,165	4,712
営業外収益合計	26,169	26,886
営業外費用		
支払利息	4,967	3,883
賃貸費用	4,396	4,800
その他	2,227	3,055
営業外費用合計	11,590	11,739
経常利益	110,714	109,344
特別利益		
受取保険金	25,720	-
特別利益合計	25,720	-
特別損失		
ゴルフ会員権売却損	-	375
特別損失合計	-	375
税金等調整前四半期純利益	136,435	108,969
法人税、住民税及び事業税	39,175	8,870
法人税等調整額	28,928	29,592
法人税等合計	10,247	38,462
少数株主損益調整前四半期純利益	126,188	70,506
少数株主利益	3,958	4,783
四半期純利益	122,229	65,722

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	126,188	70,506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,909	20,653
その他の包括利益合計	14,909	20,653
四半期包括利益	111,278	91,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,319	86,376
少数株主に係る四半期包括利益	3,958	4,783

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	136,435	108,969
減価償却費	53,114	52,453
賞与引当金の増減額(は減少)	37,048	35,584
貸倒引当金の増減額(は減少)	133	82
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	23,494	174,054
退職給付引当金の増減額(は減少)	15,889	1,832
受取利息及び受取配当金	15,087	15,293
受取保険金	25,720	-
支払利息	4,967	3,883
ゴルフ会員権売却損益(は益)	-	375
売上債権の増減額(は増加)	72,419	48,928
たな卸資産の増減額(は増加)	59,392	28,688
未収入金の増減額(は増加)	28,127	17,281
仕入債務の増減額(は減少)	23,112	5,777
未払消費税等の増減額(は減少)	4,623	52
その他	13,578	4,386
小計	125,341	74,071
利息及び配当金の受取額	15,043	15,294
保険金の受取額	74,120	-
利息の支払額	5,256	4,114
法人税等の支払額	54,860	27,724
法人税等の還付額	-	3,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	154,388	87,398
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	196,222	212,885
定期預金の払戻による収入	187,714	319,126
有形固定資産の取得による支出	40,739	74,652
投資有価証券の取得による支出	1,639	1,709
その他	646	484
投資活動によるキャッシュ・フロー	50,240	30,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	170,000
長期借入金の返済による支出	153,925	147,400
社債の償還による支出	50,000	50,000
自己株式の取得による支出	22	14
配当金の支払額	15,884	20,690
少数株主への配当金の支払額	-	315
財務活動によるキャッシュ・フロー	69,831	48,420
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	34,316	105,455
現金及び現金同等物の期首残高	397,942	360,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	432,258	255,503

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形裏書譲渡高	171,100千円	198,218千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形及び売掛金(純額)	907千円	989千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	9,905千円	54,813千円
裏書譲渡手形	13,364	7,022

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
現金及び預金勘定	349,934千円	315,405千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	127,219	94,598
有価証券勘定	209,544	34,697
現金及び現金同等物	432,258	255,503

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	15,884	7.50	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	21,178	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成25年12月31日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成25年12月31日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動があるものの企業集団の事業の運営において重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成25年12月31日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	57円71銭	31円03銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	122,229	65,722
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	122,229	65,722
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,117	2,117

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

不二硝子株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 奈尾 光 浩

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊集院 邦 光

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。